

あなたは

① お金を使いたがるのか

昔は親が亡くなる歳が65~75才。
その子供は50才前後でお金のかかる世代。
少しでも次の世代へお金を遺してあげることが美徳とされました。

今は親が亡くなる歳が80才~100才。
その子供は65才~75才となり
お金を遺しても使うことに興味が薄い世代。
無理に子供に遺す意味が無くなりつつあるようです。

しかしながら永〜い老後を生きるために
不安で貯めてきたお金を使えない人も
多いようです。

あなたにとって 仮に老後に病気や介護になっても
子供に迷惑をかけずに生きていける金額が分かれば、それ以外のお金は使えていいのです。〆

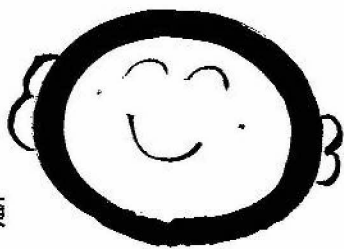
(ご希望であれば金額を試算しますのでご相談下さい)

お地蔵さんだよ

2023年12月

Vol. 207

作者 鳥越介順



(有)いっしょにマネープラン

② いざ使おうとすると

今までお金を使わないように生きてきたことが身に付いているので

「お金を使おうとすると躊躇する自分がいる。」

「お金を使うことに罪悪感を覚えます。」

という方も 多いことでしょう。

しかしお金はもともと使うためにあります。
お金は貯めたり、増やしたりすることよりも
使うことの方が圧倒的に楽しいのが普通です。
使ってもいいお金を気持ちよく使えない精神状態は人生の幸福にとって問題となります。〆

③ お金を使うトレーニング

なかなか身に付いた価値感や習慣は
変えられないのが人間です。

そこでひとつご提案です。〆

人のために使うことから始めてみるのはいかがでしょうか。

なかなか自分の贅沢のためには使えないものですが

人のため、喜ばれるためならとハードルが下がります。

例えば

人のために手土産やプレゼントを購入した ついでに自分のものを購入する。という感じであれば始められると思いますよ 〆

お金を
使えばじめて
価値となる
人を喜ばせると
お金も嬉しい

